

近世大名のアーカイブズ資源研究

—松代藩・真田家をめぐって—

国文学研究資料館 編

2016年3月刊行

▶ A5判・408頁／定価：本体7,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1840-0

近世大名は、組織的・人的な活動を通じて多様な文書類を膨大に発生させた。
松代真田家に伝来した七万数千点に及ぶそれらも、支配・政治・経済・産業・文化・
文芸など多岐に亘る内容を有し、過去はもちろん現代・未来を語る上でも欠かせない第
一級のアーカイブズである。

本書は、真田家のアーカイブズを中心に、藩庁の全体構造や各部局の機能などにつ
いて、記録管理の観点から分析を試みたはじめての実践的な研究成果である。

既刊『アーカイブズの構造認識と編成記述』『幕藩政アーカイブズの総合的研究』に
続く、国文学研究資料館の共同研究の成果。



近世大名の
アーカイブズ資源研究

—松代藩・真田家をめぐって—

国文学研究資料館 編



◎内容目次◎

序章 アーカイブズ資源研究の動向と課題
(大友一雄・国文学研究資料館教授)

第1編 藩庁の組織構造と記録管理

第1章 松代藩・国元における行政組織とその場
(原田和彦・長野市立博物館学芸員)

第2章 家老職における執務記録の作成と保存
(太田尚宏・国文学研究資料館准教授)

第3章 真田家文書からみる
松代藩組織構造と「物書」役
(宮澤崇士・長野市立博物館専門員)

第2編 藩庁と藩庁外の記録管理システム

第4章 江戸における大名課役をめぐる引継文書と
藩政文書—松代藩の所々火消勤役を事例に
(岩淵令治・学習院女子大学教授)

第5章 糸会所の記録作成・授受・管理と機能
—記録管理システムと専売制
(西村慎太郎・国文学研究資料館准教授)

第6章 松代城下町町人地の
行政情報蓄積様式にみる家と組織
(渡辺浩一・国文学研究資料館教授)

第7章 松代藩代官文書の管理と伝来について
(種村威史・国文学研究資料館研究員)

第8章 官僚制機構の末端としての村
—藩地域研究とアーカイブズ研究との接点
(福澤徹三・すみだ郷土文化資料館専門員)

第3編 大名家伝来文書群と記録管理

第9章 幕府老中職文書群に関する基礎的研究
—松代藩公用方役人と文書システム
(大友一雄)

第10章 松代藩御納戸役の職掌と記録管理
(降幡浩樹・松代文化施設等管理事務所学芸員)

第11章 藩主生母の格式をめぐる意志決定の史料空間
—九代藩主真田幸教生母心戒の事例を中心に
(福田千鶴・九州大学教授)

第4編 伝来と管理

第12章 真田家印章の使用と伝来
(山中さゆり・松代文化施設等管理事務所学芸員)

第13章 真田宝物館所蔵真田家文書の管理と
容器の特質—目録編成に向けた現状調査報告
(工藤航平・東京都公文書館専門員)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	近世大名のアーカイブズ資源研究 本体7,000円(税別) ISBN978-4-7842-1840-0			
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	代引 (書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				



本書HPのQRコード

幕藩政アーカイブズの総合的研究

国文学研究資料館編

幕政・藩政文書それぞれの管理・伝来について具体的に検討し、各藩において文書管理の実務にあたったものたちへ焦点を当てることで、幕藩文書管理の歴史に新たな知見を示す。近世から近代へとつながるアーカイブズ研究にさらなる実証的研究を積み上げる、国文学研究資料館共同研究の成果。

▶A5判・504頁／本体 8,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1798-4

備前岡山の在村医 中島家の歴史

中島医家資料館・中島文書研究会編著

中島(なかしま)家は、瀬戸内市邑久町北島に二代玄古が居を構え、今日(十代祐一)まで医業を継続している在村医家である。江戸中期より続く在村医家に残る貴重な書籍・古文書・器物類の解説・分析を通して、当家庭代の生涯、研究論文9篇、史料翻刻5篇、蔵書目録および年表を収録。中島家の医業の歩みに光を当てる一書。

▶B5判・318頁／本体 10,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1826-4

幕末期の老中と情報

佐藤隆一著

水野忠精による風聞探索活動を中心に

水野忠精を題材とした老中の情報収集を軸に、同時代の他の事例も交えて、幕末期の老中による政治情報収集の実態とその情報内容、さらにはこれらの扱われ方を実証的に分析することで、基本的な老中の情報収集ルートの特徴を明らかにする。

▶A5判・520頁／本体 9,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1702-1

京都雑色記録 [全3冊]

朝尾直弘編

京都大学史料叢書

近世京都の雑色は、所司代・町奉行の下にあって、町代と並ぶ行政の支柱となった役人。本記録は、上雑色五十嵐氏の諸記録と、下雑色小島氏の留書(日記)をおさめたもので、「雑色要録」の欠落部分をみたとともに、牢屋敷における日常生活・管理の様子を具体的にうかがうことのできる第一級の史料。

▶A5判・平均370頁／各本体 14,000円(税別)

近世長崎司法制度の研究

安高啓明著

幕府直轄領には旗本を派遣し、幕府法を遵守しながら歴史的土壌かつ地域性を包含した支配を行なった。本書では、長崎奉行所で構築されていた司法制度のもとでの、長崎奉行の司法的権限に迫った。また法の浸透過程と受容した長崎奉行所の法体系を見出し、判例集「犯科帳」から当時犯罪に関与した人間模様、裁判の実相を明らかにする。

▶A5判・504頁／本体 5,700円(税別)

ISBN978-4-7842-1477-8

熊本藩の地域社会と行政 近代社会形成の起点

吉村豊雄・三澤純・稲葉継陽編

永青文庫細川家文書に大量に残された地方行政記録綴「覚帳」や、村役人層をはじめとする住民の評価・褒賞記録綴「町在」の系統的分析を行うことで、19世紀段階の近世行政システムの全容を解明し、さらにそれらが近代社会の成立や地域の近代化にとって、どのような前提条件を提供することになったのかを明らかにする。

▶A5判・420頁／本体 9,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1458-7

近世京都近郊の村と百姓

尾脇秀和著

佛教大学研究叢書22

京都近郊に位置し、公家・寺院領を中心とする相給村落であった山城国乙訓郡石見上里村(現・京都市西京区大原野石見、上里)と、同村百姓にして公家家来でもあり、庄屋・医師・手習師匠としても活動した大島家を研究対象にとりあげ、近世百姓の変容と実態を多面的に明らかにする。

▶A5判・294頁／本体 4,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1731-1

畿内の豪農経営と地域社会

渡辺尚志編

18世紀末以降、河内国丹南郡岡村(現藤井寺市)の庄屋を世襲した豪農・地名望家が岡田家であり、近世・近代において同家が作成・授受した「岡田家文書」は、1万数千点にもおよぶ。近年整理が進められている岡田家文書を多角的に分析し、畿内における村落と豪農の特質を経済・社会構造の観点から解明する。

▶A5判・508頁／本体 7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1385-6

中世アーカイブズ学序説

上島有香

文書を単なる文献資料としてのみ扱うのではなく、「かたち」「かたまり」「かさなり」の総体として、静態としてだけではなく動態として、さらに古代から近現代にいたるまでを一貫した観点でとらえる理論的枠組みを提唱し、それをふまえた本論・補論で、中世・近世にまたがる個別文書群について論究する。

▶B5判・428頁／本体 13,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1542-3

文人世界の光芒と古都奈良

大和の生き字引・水木要太郎

久留島浩・高木博志・高橋一樹編

水木要太郎(1865-1938)が収集した経典・古文書・刷り物・書簡などのコレクション全容の復元、他分野に及ぶ資料群の形成過程や収集意図の持つ歴史的意義の解明を目的とした国立歴史民俗博物館の共同研究の成果。

▶A5判・508頁／本体 7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1481-5

※近代日本と幕末外交文書編纂の研究

田中正弘著

外交文書の編纂事情、編纂した外交文書集の内容構成、諸本の性格、また徳川幕府外国方の編集構想から明治初期外務省の編集組織の確立過程、太政官における幕末外交文書編纂の開始事情とその後の推移など、広範な第一次史料を駆使してその全容をはじめ具体的に考察。

▶A5判・480頁／本体 9,800円(税別)

ISBN4-7842-0958-1

※近世史小論集 古文書とともに

藤井譲治著

日本近世政治史研究の泰斗である著者が、研究をはじめたころからごく近年にいたる間に書いた小論のうち、あまり目にとまらないところに収められたもの、入手の困難なものの中で著者の主要な研究の前提、あるいはその後の展開にかかわる論考を集めた。2012年3月の京都大学退職にあたり、約40年におよぶ研究の軌跡を振り返る。

▶A5判・490頁／本体 6,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1621-5

※長崎奉行の研究

鈴木康子著

17世紀後期から18世紀中期の約100年間の、長崎奉行の職掌や幕府内における長崎奉行の位置づけの変化、そして長崎奉行自体の特質が変質してゆく状況を解明し、その背景となる幕府の経済政策の推移や、日本側の外国人に対する意識の変化などについても考察を加える。

▶A5判・420頁／本体 6,200円(税別)

ISBN978-4-7842-1339-9

今村家文書史料集 [上・下巻]

今村家文書史料集研究会編

戦国期以来、京都近郊の伏見街道沿いで地域の有力者として代々続いた今村家に伝わる文書群の翻刻史料集。上巻には中世～近世、下巻には近代の史料を掲載し、文書全点の目録および絵図類の高精細画像とトレース図30点を収録したCDを両巻に収める。

上巻▶B5判・284頁／本体 8,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1830-1

下巻▶B5判・360頁／本体 9,200円(税別)

ISBN978-4-7842-1831-8

一九世紀の豪農・名望家と地域社会

福澤徹三著

19世紀の豪農・名望家と地域社会の関係を、上位権力と都市と取り結ぶ関係にも留意しながら総合的に検討することにより、近世・近代移行期の特質を解明するための地域社会論の提起をする。中核的豪農と一般豪農の経営レベルの比較、金融活動の分析を中心に、その生業・営為を近世・近代を通じて明らかにする。

▶A5判・330頁／本体 6,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1642-0

老農・中井太一郎と農民たちの近代

大島佐知子著

農業近代化の過程で重要な役割を果たした「老農」といわれた農事改良者たちは近代化のなかで忘れられた存在である。除草機「太一車」の発明者として知られる中井太一郎について、ライフヒストリーを丹念にたどりながら、彼の技術・思想や、その全国巡回を支えた組織・団体などを明らかにする。

▶A5判・388頁／本体 7,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1710-6